

平成30年6月18日  
大阪管区気象台平成30年6月18日07時58分の大阪府北部の地震における  
現地調査について

平成30年6月18日07時58分に大阪府北部で発生した地震について、大阪管区気象台は、本日（6月18日）から「気象庁機動調査班（JMA-MOT）」を派遣し、大阪府内で震度5強以上を観測した震度観測点（別紙参照）の観測環境及びその周辺を中心とした地震動による被害状況について、現地調査を実施しています。本日、実施した調査結果の概要は以下のとおりです。

なお、明日以降も調査を継続する予定です。

## ○震度観測点の観測環境の状況

本日、調査した以下の震度観測点について、震度計台や周囲の地盤等に異常は認められませんでした。

- ・大阪北区茶屋町（おおさかきたくちややまち）（大阪府） 震度6弱
- ・茨木市東中条町（いばらきしひがしちゅうじょうちょう）（大阪府） 震度6弱

括弧内は、震度計所属機関を示す。

## ○地震動による主な被害状況

上記の震度観測点から概ね200m以内の範囲で、建物の被害状況の確認や被害の聞き取り調査を実施し、両観測点ともに以下の状況でした。

- ・外観から確認した建物の被害状況  
この範囲内では外観からの被害は確認されなかった
- ・聞き取り調査の結果  
「物につかまらなないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じた」  
「棚にある食器の多くが落ちた」など

# 調査対象地点

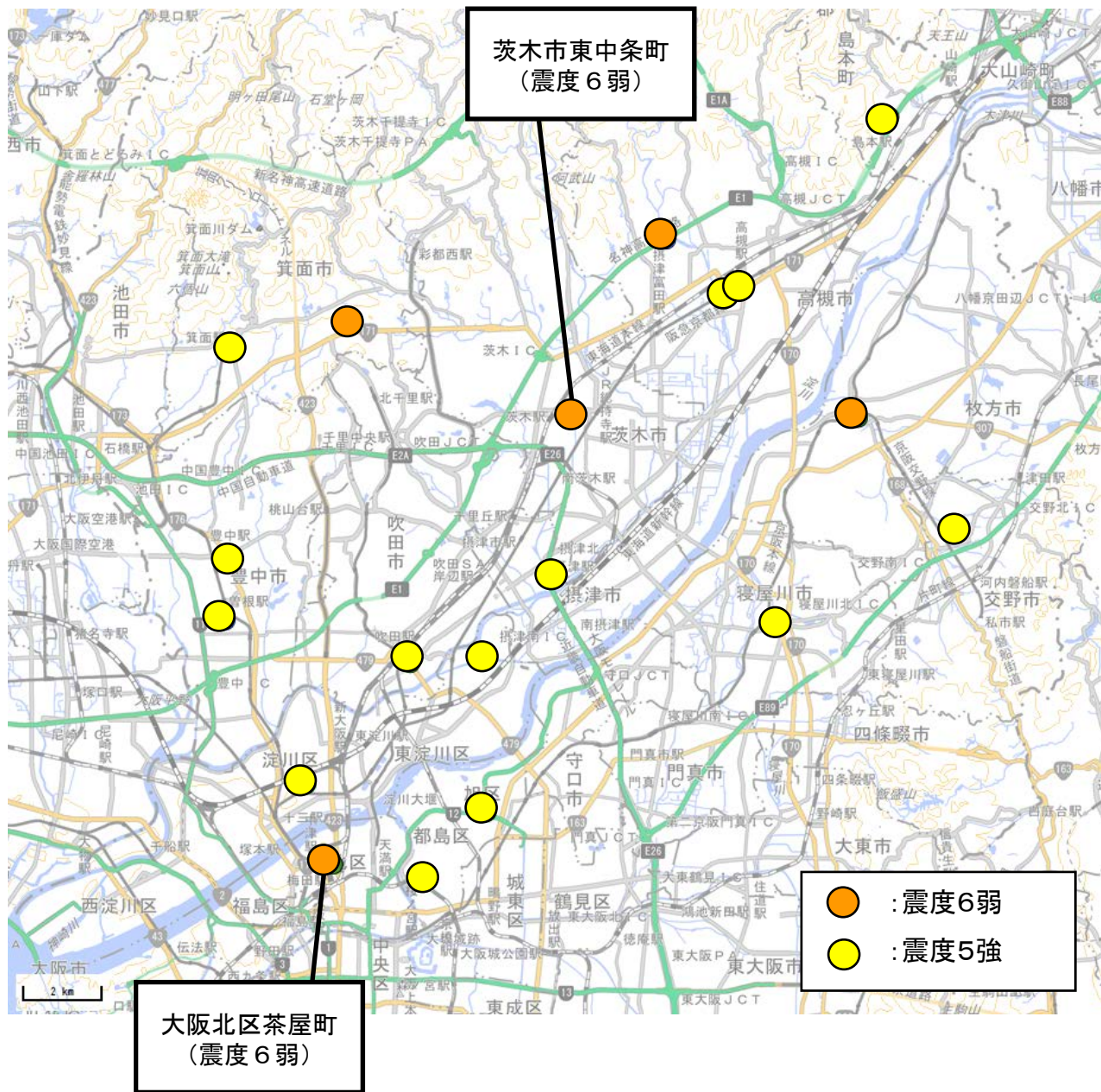


図1 調査対象地点  
吹き出しは本日(6月18日)調査を実施した観測点